

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこ うりゅうきょうかいかい ひょうだい ごう
高崎市国際交流協会会報第126号

2026.2

◆トピックス(2025年11月～12月)

■子ども日本語学習支援事業

協会は、2012年から、日本語が母語ではない6才から18才の子どもに、日本語を教える活動をしています。この活動は、ボランティアの人たちの協力で行われています。今は、ネパール、中国、ベトナム、モンゴル、フィリピン出身の子ども15人が、主に週末に、市内の公民館などで日本語を勉強しています。



ボランティア養成講座

支援が必要なより多くの子どもに対応するために、11月29日と12月6日に、支援ボランティアを養成する講座が中央公民館で行われました。講座は、2日間で合計10時間でした。20人の受講者は、群馬県立女子大学地域日本語教育センターの野口美美准教授と、現在ボランティアとして活動している五十嵐明広さんから、多様な文化背景をもつ子どもたちの現状、日本語を母語としない子どもへの日本語学習支援のポイント、そしてボランティアだからできる支援や心構えなどを学びました。受講者からは「ボランティアを通じ、一人でも多くの子どもに寄り添える存在になれるよう頑張っていきたい」「基礎的な部分から丁寧に教えてもらい、多くのことを学んだ。ボランティアすることに不安もあるが、期待も大きい」などの感想が寄せられました。



■参加者交流会

12月27日、ふだんは別々に勉強している子どもたちとボランティアが、中央公民館に集まり、「お楽しみ会」を行いました。ボランティアは、みんなでアイデアを出し合い、「動物会議」「ひらがなbingo」、チームで競争する「プラカップゲーム」「福笑い」などのゲームを準備しました。どのゲームも、思わず日本語が出てくる、とてもよい内容でした。子どもたちも、保護者も、ボランティアも、みんなで楽しい時間を過ごしました。

(子ども日本語学習支援ボランティアグループ)



■外国人のための法律相談

12月8日に、中央公民館で「外国人のための法律相談」が、群馬県観光物産国際協会との共催で行われました。7か国16人が、通訳者とともに弁護士、行政書士、社会保険労務士に相談しました。主な相談内容は、雇用・労働、離婚・子供の養育や入管手続きでした。

(事務局)

とうげいたいけん ■陶芸体験

11月30日と12月7日、2回にわたる陶芸体験が「高崎学びの森陶芸教室」で行われました。日本、中国、アメリカ、フィリピン、パキスタン出身者あわせて15人が参加しました。参加者は、作品を作りながら、交流を深めました。このイベントは、一昨年にも行われ、とても好評だったので、今年も行うことになりました。作品が焼き上がったら、作品発表会を行う予定です。

(事業部会)



◆おしらせ(2026年2月~3月)

■語学ボランティア養成講座

～ネパール語講座～

●期間=3月6日、13日、27日の金曜日、午後2時～3時45分(全3回) ●場所=中央公民館(末広町) ●対象=会員か市内在住・在勤者 ●内容=ネパール語のあいさつや自己紹介、文字の基礎を学ぶほか、ネパールの文化について話を聞く ●定員=20人(先着:会員枠5人、一般枠15人) ●費用=会員500円、一般1,000円 ●講師=ライ・ムスカンさん(高崎市外国人相談支援センターのネパール語相談員) ●申込=会員は2月2日(月曜日)から、件名に「ネパール語講座」、本文に氏名(ふりがな)、住所、電話番号を書いて、メールで事務局へ。一般申込は2月9日(月曜日)から受け付けます



■親子国際理解バスツアー

●期日=3月27日(金曜日) ●内容=ブラジル連邦共和国大使館と日本科学未来館(東京)を訪問して国際理解を深める ●対象=市内在住の小学新5年生から中学1年生とその保護者(1人まで)で、3月1日(日曜日)午前の事前説明会に参加できる人 ●定員=15組(抽選) ●費用=1人6,000円 ●申込=2月16日(月曜日)までに、件名に「親子国際理解バスツアー」、本文に参加者氏名(ふりがな)、姓、名、学校名・学年、住所、電話番号、申込動機を書いて、メールで事務局へ



■Cool Takasaki発信事業

いけばな体験

●日時=3月8日(日曜日)午前10時～11時30分 ●場所=高崎シティギャラリー(高松町) ●対象=市内在住・在勤の外国人 ●定員=5人(先着) ●内容=高崎市華道協会の指導を受けながら、いけばな1作品を作る ●費用=1,000円(花代込み) ●申込=1月19日(月曜日)から2月2日(月曜日)までに、件名に「いけばな」、本文に氏名(ふりがな)、国籍、電話番号を書いて、メールで事務局へ
※作品は、体験終了後から3月9日(月曜日)午後4時まで「市民いけばな展」に展示され、同日午後4時から6時の間に受け渡しになります



市街地で謎解きゲーム

●日時=3月14日(土曜日)午後1時30分～4時 ●集合・解散場所=高崎市役所(高松町) ●内容=2チームに分かれて、英語で謎解きをしながら、高崎の魅力的な場所をめぐる(高崎駅周辺) ●対象=会員と高崎市内在住・在勤の外国人で、5キロ歩けて、英語で日常会話ができる人 ●定員=会員5人・一般5人の計10人(いずれも先着) ●申込=2月20日(金曜日)までに、件名に「謎解きゲーム」、本文に氏名、国籍、電話番号を書いて、メールで事務局へ

私は、日本に来たばかりの頃、私は日本語があまりわかりませんでした。買い物や病院、市役所に行くとき、とても不安でした。わからないことが多くて、いつも緊張していました。

「日本語を勉強したい」「日本で安心して生活したい」と思い、高崎市の日本語教室に通い始めました。

高崎市の日本語教室では、生活で使う日本語を勉強します。先生のボランティアの方は、とても親切です。ゆっくり、わかりやすく教えてくれます。

授業では、あいさつ、買い物、バスや電車の使い方、学校や地域の話などを勉強しました。毎日の生活に役立つ日本語なので、とても助かっています。

最初は、日本語を聞くことも話すことも難しかったです。でも、毎週勉強して、少しずつ話せるようになりました。今は、簡単な会話なら自分で話すことができます。



イママさんのプロフィール

はじめまして。私の名前はイママ・スクリナダです。2年前にインドネシアから来ました。現在、介護の仕事をしています。介護福祉士の試験に合格するために、日本語の勉強を一生懸命がんばっています。どうぞよろしくお願ひします。

日本で生活して感じたことは、人がやさしいことです。困っていると、声をかけてくれる人がたくさんいます。日本では、時間を守ることや、ルールを大切にすることが大事です。ゴミの分け方や、近所の人へのあいさつなど、みんなが気持ちよく生活できるようにしています。

日本語教室で知り合った人と一緒に、地域のお祭りやイベントに参加しました。日本の文化を知ることができて、うれしかったです。



～広報宣伝部会のメンバーが読んで質問しました～

Q1 日本語はどうやって勉強しましたか？

インドネシアで、助産学の大学を卒業したあと、日本語学校に通いました。高崎市国際交流協会の日本語教室では生活に必要な日本語を勉強しています。とても楽しいです。

Q2 介護の仕事はどうですか？

私は、インドネシアの公立病院で助産師として働いたことがあります。日本での介護の仕事は、とても楽しいですが、大変なこともあります。それは、日本の規律がとてもきびしいことです。でも、高齢の患者さんから日本についてたくさん学びました。また、日本では時間がとても大切だと学びました。

Q3 日本とインドネシアのルールはどんな風に違いますか？

例えば、ごみの分け方です。私の村では、ほとんどのごみを家の前や後ろで燃やします。燃えないごみは売ることができます。ただ、インドネシア国内でも地域によってルールや文化が違います。

Q4 日本に来て、日本の印象は変わりましたか？ 日本の好きな食べ物などあったら教えてください。

一番不安だったことは、日本語が難しいことと、日本のきびしい規律です。でも来てみたら、人がやさしくて、親切なので、とてもびっくりしました。刺身と寿司がとても好きです。毎週1回、寿司レストランに行きます。ときどきスーパーで買います。



Q5 ホームシックになることがありますか？

ときどき家族や友だち、インドネシアの料理が恋しくなります。

Q6 これからの目標を教えてください。

もっと日本語を話せるようになって、地域の活動に参加したいです。



みなさん、こんにちは。高崎市外国人相談支援センターでポルトガル語を担当しているペイショット法子です。東京の大学でポルトガル語を専攻し、ブラジルに渡って20年、その後アメリカで10年の海外生活を終え、帰国しました。この間に現地で出会った多くの方々との友情や、学生としてまた社会人として外国で過ごした日々の経験は、失敗も含めて私の貴重な宝物です。

帰国後、県のボランティア医療通訳のパネルデスカッショングへの参加がきっかけとなり、2008年から高崎市のポルトガル語相談員のお仕事をさせていただくことになりました。数ページにも及ぶ月刊ニュースレターの作成、ラジオ高崎の月2回の外国語ニュース収録、様々な内容の相談を

前に、果たして自分にこなせるだろうかと、当初はとても心配でした。複雑な行政の仕組みや支援体制を少しづつ理解する努力を続けながら、異なる文化・価値観を持つ相談者が聞いてほしい事、解決してほしい事を自分事として感じられるように努めました。わからない時は職場の同僚や担当窓口の方々の助けを借りて、不急不休の精神でやってきました。今まで私の人生で経験した全てが、現在役立っていることを日々実感し、全てに感謝する毎日です。外国で生活してみて自分が困った事や不安だった事など思い出しながら、日本に住む外国の方たちが少しでも安心して暮らせる助けになれればと願っています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

外国人相談支援センター



たかさき し やくしお かい
高崎市役所2階

TEL 027-321-3100 MAIL fr-support@city.takasaki.gunma.jp

外国語で生活相談ができます【対応言語と相談日】

時間:午前8時30分~午後5時 Hours: 8:30 a.m. - 5:00 p.m.	月曜日 Mon.	火曜日 Tue.	水曜日 Wed.	木曜日 Thu.	金曜日 Fri.
English 英語	●	●	●	●	●
中文 中国語	●			●	
Tiếng Việt ベトナム語					●
ネパール語 ネパール語					午前8時30分 ~12時30分
Tagalog タガログ語(フィリピン語)			●		
Português ポルトガル語	●			●	
Español スペイン語		●			
◎ビデオ通話通訳を使って相談もできます。(17言語対応)					

行政書士による外国人相談

Consult with a specialist (gyoseishoshi) about immigration matters, etc.

日時：毎週水曜日（祝日・年末年始を除く）、午後1時～5時
内容：在留資格や国際結婚・離婚、永住、帰化、就労、起業など

対応言語：English英語・Tagalog タガログ語(フィリピン語)

◎その他、ビデオ通話通訳を使って相談もできます(17言語対応)

ラジオ たかさき 高崎



マイタウン高崎

【放送日時】

だい きんとう び
第1・3金曜日

ごぜん 午前9時15分～9時25分
さいほうそう 再放送

ごご 午後12時30分～12時40分

【放送予定】

- 2月 6日 親子国際理解バスツアーほか
- 2月 20日 ボランティア募集
- 3月 6日 広報宣伝部会
- 3月 20日 春の日本語教室

ともだち

はっこう たかさき し こくさいこうりゅうきょうかい
発行 高崎市国際交流協会

たかさき し たかまつちょう
〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP <http://www.glocalfive.net/tirs>

はっこう び れいわ ねん
発行日 令和8年(2026年)2月

会員を募集しています

かいいん き かん
●会員期間=4月1日～翌年3月 ●会費=個人 2,000円・法人その他の団体 10,000円 (10月以降の新規入会は半額)
くわ にゅうかいほうじ ジ むきよく と あ
●詳しい入会方法は事務局にお問い合わせください